

呼称

1 総代

学部イベントの運営における代表。前年度の総代によって選出される。噂によると、代々総軟 BRAVES（野球サークル）内で受け継がれているらしい。総代になりたい人は総軟に入ってみては！

2 副総代

学部イベントの運営における副代表。前年度の副総代によって選出される。実は、歴代の総代・副総代のみが入れるコミュニティがあるとか。島根県出身者が多い（自分調べ）。

3 フェロー

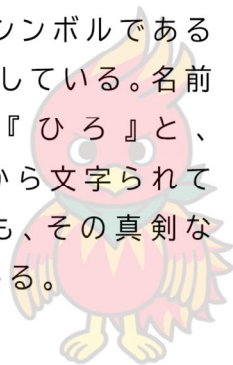
各班のリーダー（総科の学生は、12の班に分けられる）。前年度の各班のフェローによって、選出方法が考えられる。学園祭を境に、前期フェローと後期フェローに分かれる。総代、副総代とフェローで旅行に行くことも！

4 30、02（サンゼロ、ゼロニ）

広島大学の学年の呼び方。入学したその年の和暦を使って何年生かを表す。昔からずっと続く、広大生なら皆わかる呼び方！最初の頃は違和感を覚えるけど、気が付くと当たり前になる。

5 ひろていー

2020年3月誕生した広大生待望のマスコットキャラクター。広島大学のシンボルである「フェニックス」がモチーフになっている。名前の由来は、広島大学の『ひろ』と、Universityの『ティー』から文字られている。可愛げな名前ながらも、その真剣な眼差しは何か強い決意を感じる。



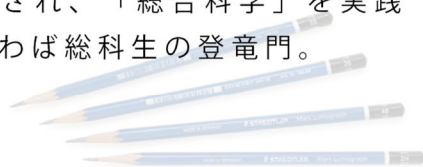
授業

6 いざない

2ターム（6月中旬から8月中旬）に行われる、総科の専門教育科目「総合科学へのいざない」という授業の略称。社会の最前線で働く方が先生として授業をされる特別授業や、3つの探究領域（人間探究領域・社会探究領域・自然探究領域）を紹介する授業がある。

7 概論（ガイロン）

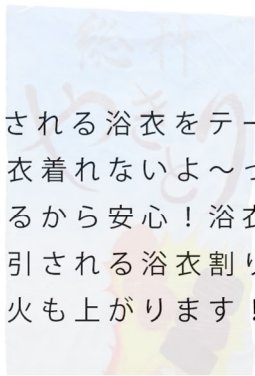
4ターム（12月初旬から2月初旬）に行われる、総科の専門教育科目、「総合科学概論」という授業の略称。発表会付きのグループワークと4000字程度の論文を書く課題が課され、「総合科学」を実践的に行う。言わば総科生の登竜門。



行事

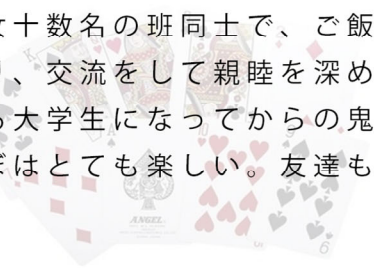
8 浴衣祭り

例年6月に広島大学で開催される浴衣をテーマにした夏祭り。自分で浴衣着れないよ〜っていう子も着付け部屋があるから安心！浴衣を着てくることで商品が割引される浴衣割りもあるらしい。最後には花火も上がります！広大で夏を満喫しよう！！



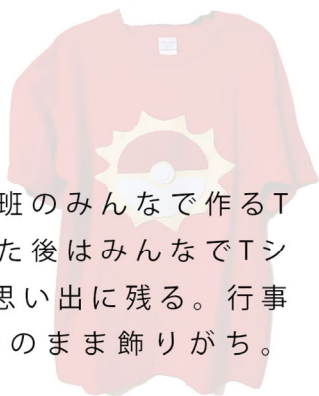
9 合班 (ゴウハン)

学部で作られる男女十数名の班同士で、ご飯を食べたり遊んだり、交流をして親睦を深める行事。合班でする大学生になってからの鬼ごっこやかくれんぼはとても楽しい。友達も増える。最高。



10 班T

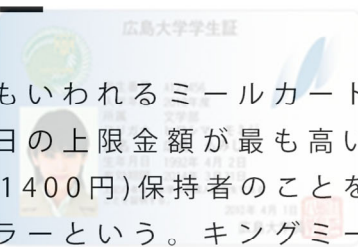
学部での行事に向けて班のみんなで作るTシャツ。行事が終わった後はみんなでTシャツに寄せ書きして、思い出に残る。行事が終わっても部屋にそのまま飾りがち。



生活

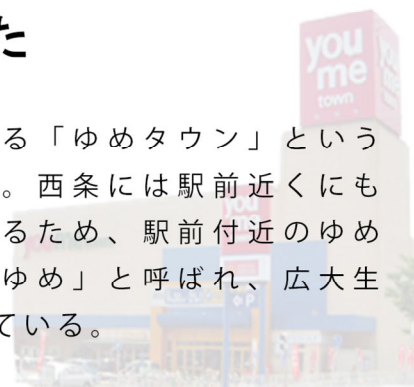
11 ミーラー

食堂の年間パスともいわれるミールカード愛用者のこと。一日の上限金額が最も高いミールカード(上限1400円)保持者のことを俗に、キングミーラーという。キングミーラーに自炊できる者はいない(偏見)。



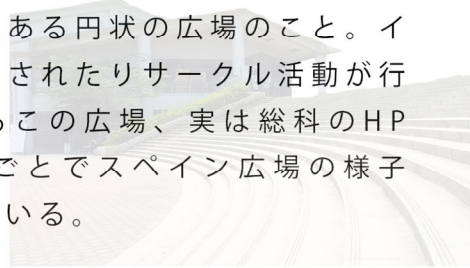
12 ゆめた

広大の近くにある「ゆめタウン」というスーパーの略称。西条には駅前近くにもゆめタウンがあるため、駅前付近のゆめタウンは「デカゆめ」と呼ばれ、広大生の中で区別されている。



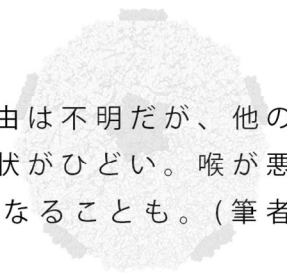
13 スペイン広場

総科棟の横にある円状の広場のこと。イベントで利用されたりサークル活動が行われたりするこの広場、実は総科のHPで毎日30分ごとでスペイン広場の様子が配信されている。



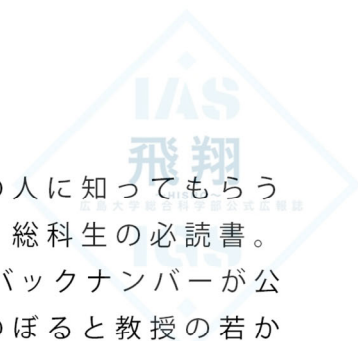
14 西条風邪

西条でかかる風邪。理由は不明だが、他の所でもらう風邪より症状がひどい。喉が悪化しすぎて声が出なくなることも。(筆者体験談)



15 飛翔

総科の魅力を多くの人に知ってもらうための公式広報誌。総科生の必読書。Webには50以上のバックナンバーが公開されており、さかのぼると教授の若かりし頃が知れておもしろい。お気に入りの記事がきっと見つかる！





Q & A

高校生からの質問集



広島大学は毎年8月にオープンキャンパスを開催しており、総合科学部ではこれから総合科学部を受験してみようかと思っている高校生や中学生の様々な質問に大学教員や先輩である学生が答える「なんでも相談」を実施しています。

総合科学部の受験を考えている高校生達がどんな疑問を抱いていて、それに大学側がどう答えたのか、ここでされた主な質問とその回答をいくつか紹介します。

※IAS：総合科学科、IGS：国際共創学科

《入試に関すること》

Q：総合型選抜は一般選抜とどのように違うのですか？

A：【IAS】一般選抜は共通テストと個別学力検査等で評価します。総合型選抜は学力以外の総合科学科で学びたいという意欲、自分の言葉で表現する能力や課題を解決するための主体性・協働性、読解力、論理的思考力等を総合して評価します。第1次選考では調査書と自己推薦書の書面審査、最終選考は小論文と面接を実施します。

【IGS】一般選抜は総合科学科と同様に共通テストと個別学力検査等で評価します。総合型選抜は日本国内で受験するIGS国内選抜型と、海外の居住国で受験するIGS国外選抜型に分かれています。それぞれ第1次選考では自己推薦書、調査書もしくは学業成績証明書等の書面審査、最終選考は英語による面接（国外はスカイプによる面接）を実施し、社会的（Social）、国際的（Global）、科学的（Scientific）な課題を理解し、自分自身のアイデアを論理的かつ説得力を持って英語で説明することが求められます。また、社会で活躍する上での適応力や創造性を示すことも求められます。

《カリキュラムに関すること》

Q：総合科学部では何が学べますか？

A：【IAS】1年次に主に教養教育科目を履修する他、必修の「総合科学へのいざない」や「総合科学概論」を履修し、総合科学とは何かを学び、それを踏まえて今後自分が何について研究していくのかを考えます。そして、3教育領域12授業科目群から自分の所属を選択し、2年次以降により専門性のある科目を履修すると同時に、所属以外の複数の教育領域の科目を履修することで、文理融合など新しい学問領域を開発するための素養を養います。

【IGS】「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」の三つの視点を柱としたカリキュラムで、学生が各々の関心と目標に合わせて履修計画を立てます。日本語が母国語の学生は、2年次に海外留学を実施します。さらに、3年次にはインターンシップを体験します。また、授業を英語で実施しており、英語で学び、英語で話し合うことを通じて、コミュニケーションの道具としての英語教育を重視しています。

Q : 文理融合の学部ですが、文系・理系を途中で変更することはできますか？

A : 【IAS・IGS】様々な分野に触れる中で、それまで専門としている分野とは別の分野に興味や関心が湧いてきて、そちらをメインに研究したいというケースは珍しくはありません。高校までは文系の授業を選択し、入学試験も文科系の区分で受験して、入学後も文系中心の科目を選択していても、別の理系分野の科目に興味を湧いて、そちらをメインに研究をしている学生もいます。それ以前の積み重ねが違うので、多少苦労することがありますが、教員や研究室内の先輩方からのバックアップやフォローもあります。又はその両方に精通することで新たな学問分野を開発することもあります。多様な研究分野に触れ、多彩な視点からの考え方を養っていく総合科学部では不思議なことではありませんし、それがありふれている(文理の垣根が低い)ことが特色の一つです。

《卒業後の進路に関すること》

Q : 大学院へはどのくらい進学しているのか？

A : 【IAS】学部卒業生の約1/4が大学院へ進学しています。学内の進学先も、人間社会科学研究科、先進理工系科学研究科、統合生命科学研究科を中心に、幅広くなっています。

【IGS】第1期生の3年生が現在進路について検討しているところです。

Q : 就職先はどんなところがあるのか？

A : 【IAS】他学部に比べて幅広い業種へ就職している実績がある。卒業者の内の1/4の進学者を除き多いのが、公務員、情報通信業(マスコミ等)、製造業(メーカー)、卸売・小売業(商社)、金融・保険、電気・ガス等多岐に渡ります。就職率が高い広島大学の中においても総合科学部は学部別にみても就職率が高い実績があります。

【IGS】外交官、国連、その他国内外で国際交流を推進する組織、国際環境保護団体のようなNGO、NPO等の国際組織、国際公務員、観光産業、グローバル展開している日本企業や外資系企業の技術・研究開発職といった国際的且つ幅広い進路を想定しています。平成30年に新設した学科なので、未だ卒業生はいませんが、IGSの学生は、グローバル人材として社会的なニーズも大きいです。

《留学に関すること》

Q : 留学はできるのか？

A : 【IAS】可能です。協定校との単位互換制度も設けており、留学先の学校で習得した単位を卒業要件とすることもできるものもありますが、長期にわたる留学を行うと通常の4年間での卒業は難しくなります(不可能ではありません)。

【IGS】2年次後期に約半年間(1学期間)留学することを前提としたカリキュラム構成になっています。留学先で取得した単位は、卒業に必要な単位の一部として認定されますので、2年次後期1学期間の留学を含めて4年間で卒業できるカリキュラムになっています。

circle

サークル紹介



東広島市国際交流フットサルリーグ

総合科学部 4年 横山駆さん

3年 名嘉正敏さん

外国人と日本人の住民同士で、顔が見える交流の場を作る

Q 東広島市国際フットサルリーグの運営をされている横山さん、名嘉さんにお聞きします。東広島市国際交流フットサルリーグの活動内容を教えてください。

A 2005年に「木下あいりちゃん殺害事件」という、外国人の方が広島県安芸区矢野で、下校途中の小学校1年生の女の子を殺害した事件がありました。その事件をきっかけに、外国人と日本人の住民同士で、顔が見える交流の場ができないかということになり、最初は呉市・広の地域で活動が始まりました。その後、2008年に総合科学部の先輩が東広島市にも作りたいということで、立ち上げたのが東広島市国際フットサルリーグです。基本的な活動としては、AリーグとBリーグに分かれ、1年間通してフットサルの総当たりのリーグ戦を行っています。月に1回開催しており、2020年度でいうと、24チームが参加してくださいました。参加者は、開催日ごとに変わるのですが、外国人が80名、日本人が80名で160名程度集まります。開催場所は、鏡山のサイエンスパーク内にあるひろしま国際プラザのグラウンドです。運営は、総合科学部のサッカーサークルで代々受け継いでいて、今年で13年目になります。(2020年10月)協賛していただいている東広島市の企業から運営費としてお金をいただき運営をしています。



Q 東広島市国際交流フットサルリーグは、広島県国際交流フットサルリーグの中にある組織なのですか。

A もともとは、広島県国際交流フットサルリーグを大元として、呉市・広や東広島など最大で7つの都市で活動していました。8月には各地区代表のチームが集まり、県大会もやっていました。しかし、僕が就任して半年ぐらい経った頃、広島県国際交流フットサルリーグを統括している組織が、運営者がいなくなり潰れてしまいました。唯一大学生が代々受け継いで運営していることもあり、運営者が途切れなかった東広島市国際交流フットサルリーグだけが活動を続けることができています。

Q フットサル以外の他に活動はされているのですか。

A 前提として、東広島市国際交流フットサルリーグの目的は、フットサルをすること自体ではなく、日本人と外国人の交流の場を創ることです。月一度のフットサルがメインの活動にはなりますが、交流イベントとして年に1度、イベントデーを企画したりしています。例年は、ひろしま国際プラザ内にあるレストランで一緒にお昼ご飯を食べながら、ビンゴ大会をしたり、日本文化体験としてスイカ割りや流しそうめんなどをしていました。今年はコロナでできないので、PK戦だけのトーナメントを行い、また、日本の駄菓子をみなさんに配りました。運営委員の活動としては、試合運営、会場設営、カメラマン、広報(SNS)、会計などいろいろあります。市長さんや議員さんなど来賓の方に来てもらうことが多くあり、その際には、コンタクトを取り、事前に調整・連絡するという細かい事務作業もしています。市長、議員や、地元企業の方々と接することが多いので、社会人としての振る舞いを学ぶこともできます。

Q 今後国際交流をより重視したイベントを開催される予定はありますか。

A これまでは、フットサル以外の国際交流として昼食交流会や日本文化体験などしかしてきませんでした。なので、今後は広島大学にある国際交流を目的としたサークルと協力して交流イベントを考え、毎月のフットサル後にそのイベントを開催できたらいいなと思っています。協力してくれる方を絶賛募集中です！是非ご連絡ください！

Q 東広島市国際交流フットサルリーグに参加した経緯を教えてください。

A 横山さん：総合科学部にサッカーサークルがあって、その中に三つの役職があります。一つ目がサッカーのキャプテン、二つ目がフットサルのキャプテン、最後三つ目が、東広島市国際交流フットサルリーグの運営委員長です。基本的には3年生の中で、この三つの役職を埋めていきます。年代が変わるときに、運営委員長が指名されるのですが、僕はアメリカに住んでいたのでも英語が喋れることと、車があり移動がしやすいということで、先輩に任命されて、この活動に携わるようになりました。

名嘉さん：自分は高校3年間フットサル部に入っていて、シンプルにフットサルが好きだったからです。あとは、実際に参加して楽しかったことと、外国人の方が楽しそうにしているのを見て、なんかいいなと思ったからです。イベントデーでのPK戦もすごく盛り上がってくれて嬉しかったですし、とてもやりがいを感じました。正直面倒くさいこともありますけど、その分やりがいも大きいです。



Q 運営としてこれからどのような活動をされていきたいですか。

A 僕はめちゃくちゃサッカーが好きで、サッカークラブのスタッフとして働きたいという夢がありました。その中で、昨年の11月に1ヶ月間、水戸ホーリーホックという茨城県のJ2のチームで、インターンシップとして働き、その際に東広島市国際交流フットサルリーグの話をすると、Jリーグでもアジア枠を新しく設けるなど、アジア人気を高める活動をしていて、その延長線上で外国人がサッカーを通して日本人と関わる活動をJクラブが主導でできたら面白いよねという話になりました。そこがターニングポイントで、それまでは、運営の活動に関して「やらされてる感」があったのですが、やる気が出てきたんです。改めて考えると150人も人が集まり、東広島市の企業さんからお金をもらい開催をしているというのは凄いことですよね。また、日本にやってくる外国人が今後増えていくと予想される中で、それに逆行して、活動が東広島市だけになったことに違和感を感じ、これはもう1回大きくするしかないという思いが強くなりました。そこで、これからもっと大きくしていくなら、まず運営体制から変えようと思いました。これまでは大学生1人だけで運営していたのですが、新しく5つ枠を設けて、学生に新しい役職に付いてもらいました。何度も言いますが、僕らが唯一残った理由は、大学生が運営をしているからです。なので、大学生の運営体制をもっと強くしていきたいですね。

“ サッカー未経験者も大歓迎 ”

Q サッカー・フットサル経験者以外の方も入ることができますか。

A プレイヤーに関しては、全くサッカーをしたことのない人たちもたくさん参加しているので、サッカーを初めてしたい人でも参加できます。また、女性の方も参加されています。運営に関しては、サッカーの知識は必要ないです。運営として参加してくれている1年生の女性運営委員は、カープが好きですが、開催中にみんなの写真を撮ったり、休憩中の外国人の方と楽しく喋ったりと、運営委員の活動をしています。



Q 飛び入りで参加することはできますか。

A できます。外国人の方でも、Facebookを通して、「興味があるので参加させてください」って連絡が来たので、参加してもらったことが多々あります。他にも国際プラザが、JICA の研修生の方などの宿泊施設になっているので、その宿泊者の方が飛び入り参加することもあります。また、その日だけ参加するチームもあります。

Q 読者に向けてメッセージを頂けますか。

A 参加者はどなたでも大歓迎です。個人でもチームでも予定が合う日に来てくれれば、当日試合を組みます。運営なら、当日しっかりと来てくれる人に来てほしいです。あとは、東広島市国際交流フットサルリーグの中に、フットサルに対してハードルを感じる人と、国際交流という言葉に対してハードルを感じる人がいると思います。さっきも言ったように、フットサルに対しては、壁を感じてもらわなくて構いません。国際交流に関しては、サッカーやっている人が、この活動を通して、しっかりした仕事ができるようになったらいいなと思ってます。なので、両方どっちに対してもハードルを持って欲しくありません。参加者も運営でも興味がある人はぜひ来てください。



“ フットサルにも、
国際交流にも
ハードルを持ってほしくない ”

領域紹介

— 総合科学科 —

自然探究領域

今号では、高校生と総科1・2回生に12の授業科目群がどんなものなのか知ってもらうため、各授業科目群に所属している総科生にアンケートを実施し、その結果をまとめました。

01 自然環境科学

物質を理解し，利用し，
創り出す

①学べること：

地学 自然環境 生物学

②男女比：

男1：女1

③印象に残っている授業：

自然環境学実験

④メリット：

人数が少ないので、先生も一人一人をよく見てくださり、分からないところがあればすぐに聞くことができる。

⑤デメリット：

理系の内容を勉強するので化学や数学の話が出てきて難しい時がある。

02 生命科学

生命の仕組みと脳の働きを
探究する

①学べること：

生物学 有機化学

②男女比：

男1：女1

③印象に残っている授業：

生命科学実験

④メリット：

人が多すぎず手厚い。専門性が比較的是っきりしておりそれに応じた科目が用意されている。学生同士で使える教室をくれる。

⑤デメリット：

実験が多くレポートが重い。授業科目群内では授業の選択肢がそれほど多くない。

03 数理情報科学

数理科学を駆使して情報化
社会に立ち向かう

①学べること：

情報科学、プログラミング、統計学

②男女比：

男8：女1

③印象に残っている授業：

データ解析序説

④メリット：

数学やコンピュータは、応用性が高く、将来どのような職業についたとしても生かせる可能性が高い点

⑤デメリット：

早いうちに微分積分、線形代数学などを取ることが求められるため壁が高く感じやすい。

04 物性科学

人間と自然の共生のあり方
を探究する

①学べること：

量子力学、電磁気学、力学、熱力学

②男女比：

男5：女1

③印象に残っている授業：

現代物理学入門 と量子力学

④メリット：

物性は人数が少ないので、質問がしやすい環境で、先生方もとても親切、丁寧に教えてくださる。

⑤デメリット：

人数が少ないので、勉強や進路に関する相談をする相手がやや少なく感じる事がある。

人間探究領域

05 人間文化

知性と感性を磨き、豊かな人間性をめざす

① 学べること:

芸術学、文化人類学、社会人類学など

② 男女比:

男4:女6

③ 印象に残っている授業:

都市文化論

④ 良いところ

該当する領域が広いので、自分が興味を持ったことを、自由に追求しやすい。

⑤ 悪いところ

必修の制約が少なく、これを取っておけば大丈夫!みたいなものもないので、学問分野に興味を持てないとしんどいかも。

06 人間行動科学

人は言葉とともにあり、知を深め、世界を広げる

① 学べること:

行動科学、心理学

② 男女比:

男7:女3

③ 印象に残っている授業:

行動科学基礎実験

④ 良いところ:

人間の気になるところを掘り下げられる。また、論文の書き方を常に学ぶような授業があるため次につながる実感がある。

⑤ 悪いところ:

レポートが多くストレスが溜まりやすい。

07 言語コミュニケーション

心と行動を科学的に解明する

① 学べること:

統語論、意味論、英語コーパス言語学、現代英語語法演習など

② 男女比:

男1:女1

③ 印象に残っている授業:

統語論、意味論

④ 良いところ:

英語や日本語だけでなく、フランス語や中国語などいろんな言語について学ぶことができる。

⑤ 悪いところ:

韓国語は学べない。第二外国語によっては取れる授業が限られてくるかもしれない。

08 スポーツ健康科学

健やかな身体と喜びや感動を生み出す科学

① 学べること:

スポーツ全般(栄養学・スポーツバイオメカニクス・健康福祉学など)

② 男女比:

男1:女1

③ 印象に残っている授業:

スポーツ社会学

④ 良いところ:

スポーツでも分野が広いため、所属授業科目群の授業だけで多様な知識が得られる点。

⑤ 悪いところ:

分野によっては文系理系それぞれの知識が必要であり、高校時代の学習が問われる点。

社会探究領域

09 地域研究

世界の中の地域，地域の中の世界

- ① 学べること：
英語圏社会研究・朝鮮文化論・東アジア地域史など 歴史に関するもの
- ② 男女比：
男1：女1
- ③ 印象に残っている授業：
ヨーロッパ史研究
- ④ メリット：
歴史の繋がりを自分で考えて発見できるところが魅力だと思う。
- ⑤ デメリット：
なし

11 越境文化

地域やジャンルを超えた社会と文化を考える

- ① 学べること：
世界の地域ごとの文化
- ② 男女比：
男子 3：女子7
- ③ 印象に残っている授業：
東アジア地域史、日本環境地誌
- ④ メリット：
社会で生きていくうえで必要な教養や知識を身につけることができる。
- ⑤ デメリット：
自分の考えを記述するレポートの課題が多い。

10 現代社会システム

現代社会の多様な課題の解明と克服に向けて

- ① 学べること：
社会学、平和学
- ② 男女比：
男4：女6
- ③ 印象に残っている授業：
社会学方法論
- ④ メリット：
授業科目群をまたいで勉強できるところ。
- ⑤ デメリット：
特になし

12 社会フィールド研究

フィールドで考える，フィールドで学ぶ

- ① 学べること：
環境地誌，社会学
- ② 男女比：
男1：女1
- ③ 印象に残っている授業：
ヨーロッパ環境地誌
- ④ メリット：
社会探究領域では科目群の垣根を超えた学習ができ、やりたいことを重視できる面。
- ⑤ デメリット：
フィールドワーク科目群という名前だが，2年時では意外とフィールドワークが少ない。（コロナ禍だからかも）

編集 EDITORS' 後記 COMMENTS

犬田悠斗

編集長

「飛翔」をお読み頂きありがとうございます。今号の作成は、COVID-19 の蔓延により、多くの壁にぶち当たりました。編集員の仲間集めは、従来通りには行かず、初めて Twitter 等の SNS を用いて、編集員の募集をかけました。また、インタビューも、対面で行っていたところを、全て Zoom などを用いたオンラインに変更しました。これらの様々な困難を乗り越え、97号の「飛翔」が完成したことを嬉しく思います。幹部、編集員、支援室、教員の方々、本当にありがとうございました。

Pornphan Wajjwalku

IGS 編集長

This year, we had the first ever layout team. Although there were a lot of difficulties with having a big team, we were able to successfully finish HISHO 97th. I am happy to be the part of HISHO 96th and 97th, and excited to see how HISHO grows in the future.

江畠 睦

レイアウト長・IGS 担当

We had many troubles throughout Hisho activity under the situation of the recent pandemic, but we made huge efforts and got many kinds of experiences. I really appreciate for all who involved the Hisho editing. Good Job!!!!

黒木渉

副編集長

新型コロナウイルスの影響により、従来の飛翔の製作とは大きく異なる形となり、苦労した部分もありましたが、飛翔編集員のみんなや協力してくださった方々の支えにより、新たな企画の作成などにもチャレンジすることができ、こんな時代だからこそできた飛翔 97 号に仕上がっていると思います。是非一度手に取って、ご覧頂けると幸いです。

私は昨年に引き続き、今年は副編集長として飛翔の作成に携わらせて頂きました。編集長に迷惑をかけ、支えてもらうなど至らない点もありましたが、私個人としては彼に誘われて始めた飛翔の活動を、今年は編集長と副編集長としてできたということは大変感慨深く思います。そういった点では個人的に印象深い 97 号となっております。我々の 2 年間の成果をお確かめになるという意味でも、是非是非一度ご覧頂ければと思います！

山重有羽香

副編集長

対面ではない形での取材ということで、色んな面で大変だということもありましたが、飛翔のみんなと、協力してくださったすべての方の支えによって、最後までやり遂げることができたと思っています。貴重な経験と、たくさんのサポート、本当にありがとうございました！

宗愛澄

自分の志望している領域とは違う先生に直接質問ができて面白かったです。色んな学問の先生方に学べるのは総科ならではの良さだと改めて感じました。アポ取りや取材は大変でしたが、先輩のサポートでやり遂げることができました。貴重な体験をありがとうございました！

宇都宮万里子

コロナ禍で対面でのインタビューは叶いませんでした。しかし、オンラインでも様々な分野の先生から研究や総科についてのお話を伺うことで、自分の知らなかった分野や、異なる視点から総科の良さについて知ることができました。また、先生方と連絡をとったり記事の編集をしたり、社会に出て活かせる体験もさせていただき、とても為になりました。

小笠原彩乃

オンラインではありましたが、先生方のお話を直接聞けてとても勉強になりました。総科の良さを改めて実感できたと思います。編集作業も楽しかったです。貴重な体験をありがとうございました！

水島愛

例年のような対面でのインタビューこそは出来ませんでした。オンラインで先生方の貴重なお話を聞くことが出来て楽しかったです、ありがとうございました！

大橋春仁

メールでのアポ取り、インタビューは、初めての体験でした。教授に失礼になっていないか不安なことも多々ありましたが、快く引き受けてくださったときはとても嬉しかったです。飛翔に入ったことで先生方の優しさに触れ、教授に対するイメージが変わりました。大変なことも多かったですが、先輩方のサポートもあり学びの多い活動でした。関わってくださったみなさんありがとうございました！

金娜永

キャンパスに行けず、友達が作れなくて心配していた私に先輩たちが飛翔での活動を紹介してくれましたが、ここでいろんな人に出会えて、活動ができて楽しかったです。特に、インタビュー活動は先輩方に協力していただき、多くの話を聞くことができたので、記憶に長く残っています。貴重な経験ありがとうございました！

谷朋香

コロナ禍でも何かをしたいと思い、最初に始めた事がこの飛翔でした。先生方とお話する機会は授業では滅多にありませんでしたが、飛翔に入ったおかげで、先生の意外な一面を見ることが出来ました。飛翔の特権ですね！携われ、非常に嬉しいです。ありがとうございました！

牧野桃子

高校生のときにもらった飛翔が大学生活の参考になり、私もこんな記事が書きたいと思い、参加させていただきました。インタビュー等でお話する機会も多く、自粛を強いられる中で人の温もりを感じることができました。いつかこの状況が落ち着きましたら、飛翔のみなさんにお会いしたいです。ありがとうございました。

青木美緒

While there are not many opportunities to start something new due to the COVID-19 situation, I am glad that I could leave something in shape cooperating with other Hisho members. I appreciate professors and seniors for their kind cooperation!

Gesree Komolsirikul

This is a new experience for me. I was so excited during interview. I think it is a very good experience to be a part of the HISHO, to know and learn from other people.

Mai Quoc Trung

I am very glad to have an interview with the professor. He gives me a wider view about Environment and Society field.

飛翔
97号

坂田省吾

広報・出版委員会（飛翔担当）

総合科学部広報誌「飛翔」97号をお楽しみ下さい。学部生が編集委員になって自分たちで考えて作成してくれました。編集委員の皆様お疲れ様でした。COVID-19の渦中で飛翔の編集委員集めも、記事にするためのインタビューも編集作業も、従来以上にたいへんだったことと想像いたします。そんな中での97号の完成おめでとうございます。考える楽しさを味わうことができたのではないかと思います。青木利夫総合科学科長も巻頭言で書かれていますように、この楽しさとたいへんな苦労をした経験は皆さんの今後の力になります。IASもIGSも一緒になって総合科学部を推進して下さい。多様性の中で総合科学部が一つになる思いはきっと読者にも伝わるはずですよ。

Kyungjae Jang

広報・出版委員会（飛翔担当）

This issue was a completely new *Hisho* that caught my eye from the cover. The IAS and IGS students who were in charge of editing worked hard! It is always exciting to read an introduction by teachers. I could understand their research and thoughts. The article on the “Saijo cold” (Is it true?) was also very impressive. I look forward to *Hisho*'s continued success!

水羽信男

広報・出版委員会（飛翔担当）

『飛翔』97号の発行、おめでとう！僕自身、色々な雑誌の編集に関わってきましたが、手塩にかけた雑誌が日の目を見るのは、嬉しいものですね。因みに僕の最新の編集は『拓蹊』第3号（電子版）。興味があれば、広島大学学術情報リポジトリでご覧ください。

いまさらですが、今号の学生の編集委員は、21世紀生まれが中心なのでしょうね。昨年還暦を迎えた僕からみれば、なんだか不思議です。しかし本誌をみて、雑誌作りにかける情熱の熱量というものは、僕たちの頃から変わっていないな、とも感じています。その『飛翔』にかける思いを、今後も後輩へと繋いでいってください。本当にご苦労さまでした。

佐々木和人

総合科学系支援室（飛翔担当）

97号を制作した令和2年度は、コロナ渦で飛翔制作にあたって躓くことが多く、飛翔編集員も手探りの中で取り組みました。例年以上に大変だったと思います。そんな中で取組んで完成まで至ったことは、課題を発見して解決するまでの一つのプロセスを体験できたと言えるかもしれません。各々が任せられたことを全うしたことは、その過程で得たことも含め、貴重な経験になったはずです。

こんな現状がいつまで続くのかはわかりません。新しい生活様式ではありませんが、新しい飛翔制作様式や、飛翔でどんなことを伝えていくのかを改めて検討するなど、飛翔の歴史を継承しつつも、世の中の変化に柔軟に対応していくことも、今後は必要なかもしれません。

ありがとう

この度は飛翔 97 号をお読み頂き誠にありがとうございました。

本年度は、COVID-19 の蔓延により、これまでのように記事作成を進めることができませんでした。しかし、様々な困難に会いながらも、多くの方の助けを借りることで、何とか今号の飛翔を作成し終えることができました。総合科学部の総合科学部生による広報誌、楽しんでご覧いただければ幸いです。また、飛翔公式ウェブマガジンでは、総科でのイベントや先生インタビューの記事を随時投稿しておりますので、併せてご覧下さい。より一層多くの人に総科の魅力について伝えて行けたらと思っております。

最後に、取材にご協力してくださった皆様、総合科学部支援室の皆様、そして最後まで読んでくださった皆様に謹んで御礼申し上げます。

飛翔幹部一同

総合科学部報『飛翔』

令和3年度3月発行 通巻97号

広島大学総合科学部広報・出版委員会

〒739-8521 東広島市鏡山 1-7-1

TEL 082 - 424 - 6319

